

## 平成28年度 プロジェクト研究費研究実績報告書

平成 29 年 5 月 8 日

代表者 狩野 浩二

研 究 課 題 名	授業研究を核とする学校づくり運動に関する総合的研究—泡瀬幼稚園・小学校（沖縄）における教育実践を中心に—
研 究 期 間	平 成 2 8 年 6 月 1 日 ～ 平 成 2 9 年 3 月 3 1 日
共 同 研 究 者	久保田 葉子

## 1. 今年度の研究概要



総合表現に取り組む

本研究では、沖縄県沖縄市立泡瀬小学校・幼稚園（以下、泡瀬と表記。校園長宮城和也）における学校づくりに関して、同校の教職員とともに授業研究に取り組むことにより、斎藤喜博(1911－1981)を起点とする「授業研究を核とする学校づくり運動」との関連、差異を検討することを目的としている。研究にあたっては、2016/7/16 日学士会館本館（神保町）において宮城和也校長と今年度の取り組みについて検討した後、8/21～26 夏の校内研修会を実施、教材解釈及び、歌唱、朗読、身体表現技法の指導を申請者が行った。10/16～22 において 2 回目の校内研修会を実施し、全学級の協働授業と示範授業を行った。12/11～18 において第 3 回目の校内研修会及び、第 1 回学校公開研究会を開催した。横須賀薫学長（当時）が 15 日から入り、申請者とともに協働授業を行った。同取り組みの成果は、前出学校公開研究会において講演ならびに協議会を実施し、内外にその成果を示したほか、『研究紀要』誌(泡瀬)の発行、研究代表者による「研究ノート」の発表（10/1 日本教育方法学会（九州大）自由研究発表及び、3/31 本学紀要 47 号所収）によりその成果を世に問うた。

## 2. 研究の成果

本研究の結果、泡瀬小児童の学力は、全国学力・学習状況調査により、全国平均を上回り、同市内において 2 番目の成績を収めた。全児童、全保護者、学習発表会参観者へのアンケートにより、本取り組みに関して、約 9 割以上の肯定的意見を得た。協働授業では、学級担任が行う授業を共同研究者である研究代表者や泡瀬の共同研究者である申請者及び、西江重勝氏、川嶋環氏、横須賀薫氏が共同で行っており、全学級の授業において協働授業を実施した。その成果は、児童の学力向上として現れており、泡瀬小教員が昨年度において、人事異動希望を出した教員が皆無であったという事実から



集中力を鍛える

もその成果の傍証として明白である。斎藤喜博が行った学校づくりから今日に至るまでの学校づくり運動との関連、差異については、研究途上であり、今後、その総合比較、相互検証を行う必要がある。そのため、平成 29 年度において、同プロジェクト研究への申請を行った。

## 3. 研究成果の公表実績・予定（年月日、方法）



自立性・協調性を育む

【分担者】久保田、2016/6/5「沖縄県沖縄市立泡瀬小学校における授業づくりと表現活動による幼児児童の学力を育む教育実践の研究—身体表現を通して主体性を育てる」（拓殖大学北海道短期大学「日本音楽表現学会第14回（メム）大会」研究発表）単独

【代表者】狩野、2016/10/1、九州大学、日本教育方法学会52回大会自由研究発表「授業研究を“核”とする学校づくり—斎藤喜博と泡瀬小学校（沖縄）—」（単独）

【代表者・分担者】狩野、宮城 2017/3/31、『研究紀要』沖縄県沖縄市立泡瀬小学校（共著）

【代表者】狩野、2017/3/31、[研究ノート] 授業研究を“核”とする学校づくりの現状—沖縄県と泡瀬小学校の場合—、『十文字学園女子大学紀要』47号（単著）pp.129-142

【代表者】狩野、授業研究を“核”とする学校づくり運動と教師教育(第1回)教師教育は「学校づくり」とどうつながるのか、『Synapse：教員を育て磨く専門誌』(57)、単著、2017/6月7月号、ジダイ社、2017/6、P74-77

## 平成26年度(2016年) 研究概要

研究所・部門	
研究課題名	授業研究を核とする学校づくり運動に関する総合的研究—泡瀬幼稚園・小学校（沖縄）における教育実践を中心に—
研究代表者	狩野浩二
研究期間	平成 28 年 6 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
共同研究者	久保田葉子

## 1.研究成果取組状況

## (1)国内外の学会発表

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	招待講演
発表済	久保田葉子、「沖縄県沖縄市立泡瀬小学校における授業づくりと表現活動による幼児児童の学力を育む教育実践の研究—身体表現を通して主体性を育てる」(拓殖大学北海道短期大学「日本音楽表現学会第14回(メム)大会」研究発表) 平成28年6月5日、単独 狩野浩二、「授業研究を“核”とする学校づくり—斎藤喜博と泡瀬小学校（沖縄）—」、日本教育方法学会52回大会自由研究発表、九州大学、平成28年10月1日、(単独) 狩野浩二、「授業研究を核とする学校づくり—教材解釈と授業」、日本教育方法学会53回大会自由研究発表、平成29年10月7日、千葉大学	
発表予定		

## (2)雑誌論文(学内紀要含む)

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	査読有無
投稿済	狩野浩二、『研究紀要』沖縄県沖縄市立泡瀬小学校（共著）平成29年3月31日 狩野浩二、[研究ノート] 授業研究を“核”とする学校づくりの現状—沖縄県と泡瀬小学校の場合—、『十文字学園女子大学紀要』47号（単著）平成29年3月31日、pp.129-142	無し 有
投稿中 投稿予定	狩野浩二、授業研究を“核”とする学校づくり運動と教師教育(第1回)教師教育は「学校づくり」とどうつながるのか、『Synapse: 教員を育て磨く専門誌』(57)、単著、2017年6月7月号、ジダイ社、平成29年6月、P74-77	無し

投稿中 投稿予定	狩野浩二、「授業研究を核とする学校づくり—教材解釈と授業」、 『十文字学園女子大学紀要』48号	有
-------------	--	---

(3) 図書等の出版

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所
出版済	
出版予定	

(4) シンポジウム・講演会等の開催

状況	主催者名・協賛社名等, 講演(発表タイトル), 実施年月日, 実施場所
開催済	
開催予定	

(5) 本研究に関連して本学経費以外に支援を得た補助金など

年度	機関・財団名, 事業名, 課題名